

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金使途状況

No.	事業名	事業概要等	事業費 (円)	臨時交付金 充当額 (円)
1	屋外掲示板設置事業	コロナ禍において、回覧等を廃止したため、各地域に掲示板を整備（4箇所）した。	2,367,200	2,367,200
2	登記済通知書入力支援システム新規導入	土地・家屋所有権移転情報など手入力による業務を減らすため、また、法務局に税務通知を受け取りに行く回数を減らすことで不特定多数との接触を避けるため、新たなシステムを導入した。	880,000	880,000
3	車両購入事業	新型コロナウイルス感染症搬送用車両として、また、現在使用する自由乗降バスがコロナ感染等を理由に使用できなくなった場合、非常時代替運行をするため、車両を購入した。	3,958,740	3,958,740
4	町内施設感染予防対策事業①	コロナ禍において、不特定多数が利用する町内関係施設に感染予防のために必要な空気清浄機等を設置した。	2,546,657	2,546,657
5	救急隊員感染予防対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として、救急隊出動時に隊員に必要な感染予防資機材を購入すした。	414,480	414,480
6	太地こども園感染予防対策事業	こども園において換気に必要なファンの設置、密を避けるためにシャワー室の増設及び外遊びを推進するためのアスレチック用保護ネットを整備した。	1,672,880	1,672,880
7	学童保育所感染予防対策事業	学童保育所において、密を避けるために新たに柵や下足箱を整備した。	1,243,000	1,243,000
8	タブレット配布事業	新型コロナウイルス感染症による休校などの対応を見据え、遠隔教育を可能とするため、小学校に入学する1年生にタブレットを配布した。	976,140	976,140
9	観光客等動態調査事業	コロナ禍において、対面でのアンケート調査ができないため、デジタルを活用したAIBeaconやQRコードを活用した調査を実施した。	3,226,000	3,226,000
10	くじらの博物館事業特別会計への繰出①	地域観光の中核を担う施設であるくじらの博物館において、入館者に売店等で使用できるクーポン券を発券し、消費喚起を促すことで、コロナ禍における地域産業の振興を図った。	5,049,500	5,049,500
11	くじらの博物館事業特別会計への繰出②	博物館内における感染リスクの低減を図るため、空調工事、オンラインツアーを開催するために必要な備品や感染予防物品を購入した。	9,224,470	9,224,470
12	庁舎内感染予防対策事業①	新型コロナウイルス感染症予防対策として、分散勤務を実施するために必要なパソコンや業務に必要なシステムを整備すした。	4,111,800	4,111,800
13	社会福祉協議会への支援	介護タクシーなどを利用できない住民からの要請により病院にPCR検査などを受けに行く際に利用する車両を購入するため、太地町社会福祉協議会に助成金を支出した。	2,100,000	2,100,000
14	町内施設感染予防対策事業②	旧グリンピア南紀に発熱者が発生した際の隔離場所がないため、プレハブを設置した。	261,500	261,500
15	職員等感染予防対策事業	抗原検査キットを整備し、職員の感染リスクの低減を図った。	577,500	577,500
16	くじらの博物館事業特別会計への繰出③	くじら館において、可動式の授乳室を新たに整備することで、利用者を分散し、授乳できる環境を整備し、新型コロナウイルス感染症予防に努めた。	3,080,000	3,080,000
17	商品券配布事業（R3補正予算分）	物価高騰に直面する住民を対象に地域内で利用可能な商品券を配布した。（12,000円/人） ※事業番号18とあわせて実施	10,017,559	10,017,559
18	商品券配布事業（R4補正予算分）	物価高騰に直面する住民を対象に地域内で利用可能な商品券を配布した。（12,000円/人） ※事業番号17とあわせて実施	25,791,000	25,791,000
19	デジタル田園都市国家構想推進交付金	自動運転をはじめとする町内の公共交通の運行情報がスマホや各拠点で整備するモニターで確認できる仕組みを構築し、デジタル化を図った。	62,247,432	29,782,042
20	くじらの博物館事業特別会計への繰出④	コロナ禍において物価高騰の影響を受ける地域観光の中核施設であるくじら館に支援金を繰り出す。	2,500,000	2,500,000
21	商品券配布事業（R4予備費）②	コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価高騰により住民生活に影響を及ぼしているため、消費を下支えするための取組として、地域内で利用可能な商品券を配布した。（5,000円/人）	15,914,512	14,092,500
22	商品券配布事業（R4予備費）③	コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価高騰により住民生活に影響を及ぼしているため、消費を下支えするための取組として、地域内で利用可能な商品券を配布した。（3,000円/人）	5,856,500	5,856,500
23	抗原検査キット整備事業	感染拡大を防ぐため、抗原検査キットを購入、希望する住民に配布した。	2,530,000	2,530,000
24	情報発信事業	町営じゅんかんバス運行情報について、町内各拠点施設において別途設置するモニターを通じて、情報等を発信し、デジタル化を図ることで接触機会の低減を図った。	1,151,370	1,151,370
25	訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	コロナ禍において、地域経済を支える観光の復興の実現に向けて、当町独自の地域資源であるくじらや未来技術であるドローン等を活用したコンテンツの造成等を実施するために社会実験を実施した。	9,012,652	2,006,326
合 計			176,710,892	135,417,164